

平成30年5月15日

各位

会社名 石垣食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 石垣裕義
(コード番号: 2901)
問合せ先 経理総務部部长 伊藤潤
TEL 03 (3263) 4444

平成30年3月期連結業績予想と実績の差異 及び特別損失(減損損失等)の計上に関するお知らせ

平成30年2月9日に公表しました平成30年3月期連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期連結業績予想と実績の差異(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 連結 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,576	百万円 35	百万円 18	百万円 △54	円 銭 △15.22
実績値(B)	1,389	16	10	△97	△24.81
増減額(B-A)	△187	△18	△7	△42	
増減率(%)	△11.9	△53.8	△41.6	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	405	△51	△53	△54	△16.05

2. 差異が生じた理由及び修正の理由

連結売上高については、珍味事業のビーフジャーキーにおいて、駄菓子向けOEM商品が減収となったこと等により前回予想値を下回りました。

連結営業利益、連結経常利益については、連結売上高が減収になったこと等により減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、下記、「3. 特別損失(減損損失等)の計上について」で記載しておりますとおり、減損損失を計上したこと等により減益となりました。

3. 特別損失(減損損失等)の計上について

飲料事業及び珍味事業の収益性の低下に伴い、関連する事業用資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失を計上することとなりました。

個別決算においては、特別損失として減損損失29百万円を計上するほか、中国連結子会社においても減損損失を計上し、中国連結子会社の企業価値が減少することから、関係会社損失引当金繰入額30百万円を計上いたします。

連結決算においては、特別損失として減損損失50百万円を計上いたします。

以上